

平成30年度		
氏名	まみや てつろう 間宮 哲朗	
生年	昭和38年生	
住所	愛知県西尾市	
品目	てん茶（てんちゃ） ・ 起源は鎌倉時代に遡り、明治時代に宇治から茶種と製茶技術を導入、大正時代に生産が本格化、現在では稲荷山付近の200haの茶園の大半がてん茶 ・ 被覆棚による遮光栽培で生産された茶葉を三河式碾茶乾燥炉で乾燥して抹茶に加工 ・ 西尾の抹茶は、鮮やかな深緑色の外観と上品な香り、渋味が少なくまろやかで強い旨味とコクが続くのが特徴で、平成29年に地理的表示保護制度（GI）に登録	
技術	棚下被覆栽培による環境に配慮した茶葉生産と高品質なてん茶の仕上げ ・ 抹茶メーカーにおけるてん茶の仕上げ担当として廻し篩による葉ぞろえや切断、唐箕（トウミ）による風力選別等の技術を習得 ・ 乗用型摘採機に適した弧状仕立てで作業効率の向上を図り、生物農薬の導入や発生予察により環境・安全に配慮	
活動状況	・ 昭和58年に抹茶メーカー(株)あいや西条園に入社し、てん茶の審査や仕上げ技術を習得した後に平成9年に退社、就農して約1.2haの茶園を3.2haまで拡大 ・ 全園を機械摘採で経営（てん茶100%、海外輸出用対応）し、品種もやぶきたから、おくみどり、さえみどり等へ改植を推進 ・ 有機肥料を中心に土壌分析による無駄のない施肥管理を行なうとともに、病害虫発生予察による一斉防除で農薬の使用を大きく低減（慣行の6割）	
相談に 応じられる 分野・内容	・ てん茶栽培における被覆資材と被覆方法、被覆時期等の栽培管理 ・ てん茶の仕上げ技術の指導と伝承	
受賞歴等	・ 愛知県茶品評会てん茶の部で受賞多数 ・ 平成19年第38回 愛知県茶業連合会長賞 ・ 平成25年第44回 日本茶業技術協会会長賞 ・ 平成26年（第45回）・平成27年（第46回） 愛知県経済農業協同組合連合会長賞 ・ 令和3年11月 第49回愛知県茶品評会てん茶の部日本茶業学会会長賞	
主な役職	・ 平成26年～平成29年 吉良茶業組合 組合長 ・ 平成30年～令和2年 愛知県茶業連合会 副会長 ・ 平成30年～令和2年 吉良茶業組合 顧問 ・ 令和2年～ // 監事	
H P		

